TORAY
Innovation by Chemistry

2014年3月期第1四半期決算の概要
（2013年4月～6月）

東レ株式会社

2013年8月6日

目次

TORAY
Innovation by Chemistry

Ⅰ．2014年3月期第1四半期決算の概要

2014年3月期第1四半期連結損益概要 (P3)
営業外収支 (P4)
特別損益 (P5)
資産・負債・純資産 (P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費 (P7)
セグメント別売上高・営業利益 (P8)
セグメント別業績 (P9−16)
営業利益増減要因分析 (P17)
主要子会社収益状況 (P18)

Ⅱ．2014年3月期業績見通し

2014年3月期連結業績見通し (P20)
セグメント別業績見通し (P21)

TORAY
Innovation by Chemistry

Ⅰ．2014年3月期第1四半期決算の概要
（2013年4月～6月）

2014年3月期第1四半期連結損益概要

TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

	13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減
売上高	3,641	4,027	+387 (+10.6%)
売上原価	2,913	3,259	+346 (+11.9%)
売上総利益	728	768	+41 (+5.6%)
（売上高総利益率）	20.0%	19.1%	−0.9 ポイント
販売費及び一般管理費	555	588	+33 (+6.0%)
（売上高販管費比率）	15.2%	14.6%	−0.6 ポイント
営業利益	173	180	+8 (+4.5%)
（売上高営業利益率）	4.7%	4.5%	−0.3 ポイント
営業外収支	18	20	+1
経常利益	191	200	+9 (+4.7%)
特別損益	▲ 26	▲ 2	+24
税前利益	165	198	+33 (+19.9%)
四半期純利益	101	133	+32 (+31.5%)

（注）3月期決算会社は4～6月の業績、12月期決算会社は1～3月の業績を連結

為替レート
＜円／US$＞
（13/3 1Q）→（14/3 1Q）
期中平均 ： 80. 2 → 98. 8
期末 ： 79. 3 → 98. 6
＜円／ユーロ＞
（13/3 1Q）→（14/3 1Q）
期中平均 ： 102. 9 → 128. 9
期末 ： 98. 7 → 128. 5

原油価格
＜US$／バレル＞（DUBAI FOB）
（13/3 1Q）→（14/3 1Q）
期中平均 ： 106. 3 → 100. 8

営業外収支

億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減
営業外収益		46	52	+6
	受取利息及び配当金	14	15	+1
	持分法による投資利益	18	22	+5
	雑収入	14	15	+0
営業外費用		▲ 28	▲ 32	−5
	支払利息	▲ 14	▲ 13	+1
	雑損失	▲ 13	▲ 19	−6
営業外収支		18	20	+1
金融収支		▲ 0	2	+3

（注）収益はプラス、費用はマイナス（▲）で表示

特別損益

億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減
特別利益		1	5	+3
	有形固定資産売却益	1	2	+0
	投資有価証券売却益	–	1	+1
	受取保険金	–	2	+2
特別損失		▲ 27	▲ 6	+21
	有形固定資産処分損	▲ 4	▲ 6	−2
	災害による損失	▲ 9	–	+9
	投資有価証券評価損	▲ 14	▲ 0	+14
	その他	▲ 0	–	+0
ネット特別損益		▲ 26	▲ 2	+24

（注）収益はプラス、費用はマイナス（▲）で表示

資産・負債・純資産

億円

	13年3月末	13年6月末	増減
資産合計	17,319	18,069	+749
流動資産	7,967	8,337	+370
有形固定資産	6,272	6,507	+235
無形固定資産	426	424	−2
投資その他	2,653	2,800	+146

	13年3月末	13年6月末	増減
負債合計	9,533	9,892	+359
流動負債	5,503	5,668	+165
固定負債	4,030	4,224	+194
純資産合計	7,786	8,176	+390
有利子負債残高	5,320	5,631	+311
D／Eレシオ	0.73	0.74	+0.01

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	特記事項
設備投資額	186	210	+25	東レ:30、連結子会社:180
減価償却費 ー)	151	180	+29	東レ:74、連結子会社:106
振替・除却等	157	205	+47	
有形固定資産増減	192	235	+43	
研究開発費	130	131	+1	

主な設備投資:

TMQ (Toray Medical (Qingdao) Co., Ltd.) :人工腎臓生産設備

CFE (Toray Carbon Fibers Europe S.A.)ほか:炭素繊維生産設備

TTCE (Toray Textiles Central Europe s.r.o.):水なし平版生産設備

セグメント別売上高・営業利益

TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

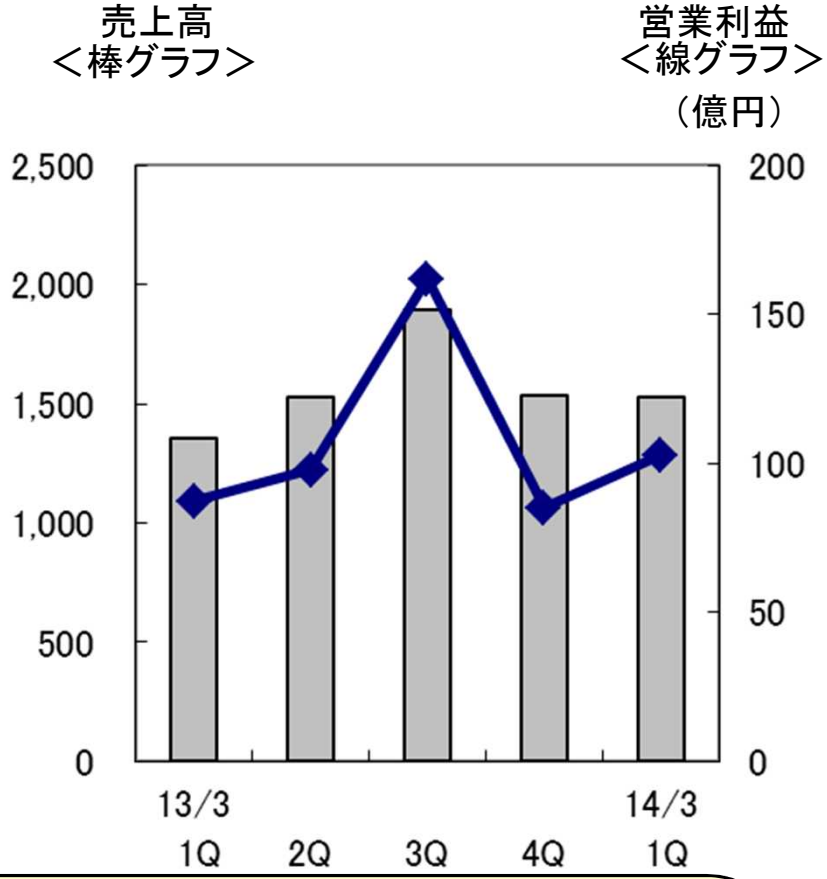
	売上高			営業利益		
	13年3月期 第1四半期	**14年3月期 第1四半期**	増減	13年3月期 第1四半期	**14年3月期 第1四半期**	増減
繊維	1,358	**1,531**	+174 (+12.8%)	87	**103**	+15 (+17.6%)
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	972	**1,134**	+162 (+16.6%)	55	**43**	−12 (−21.7%)
情報通信材料・機器	580	**575**	−5 (−0.9%)	42	**45**	+3 (+8.0%)
炭素繊維複合材料	184	**244**	+60 (+32.9%)	22	**25**	+3 (+15.4%)
環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	385	**388**	+4 (+0.9%)	▲ 1	**2**	+4 (−)
ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	131	**123**	−8 (−6.4%)	16	**7**	−9 (−57.7%)
その他	31	**32**	+1 (+2.5%)	2	**2**	−0 (−21.6%)
計	3,641	**4,027**	+387 (+10.6%)	223	**227**	+4 (+1.9%)
調整額				▲ 50	**▲ 47**	+4
連結	3,641	**4,027**	+387 (+10.6%)	173	**180**	+8 (+4.5%)

セグメント別業績（繊維）

TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	258	278	+20	(+7.6%)
	国内	633	709	+76	(+12.0%)
	海外	467	545	+78	(+16.7%)
	計	1,358	1,531	+174	(+12.8%)
営業利益	東レ	40	47	+7	(+18.1%)
	国内	20	18	−2	(−8.7%)
	海外	30	45	+15	(+51.3%)
	修正	▲ 2	▲ 8	−5	
	計	87	103	+15	(+17.6%)



国内：　衣料用途は、機能性インナーウェア用途向けの販売が堅調に推移したが、その他一般衣料用途の販売は弱含みで推移。一方、円高修正の影響もあり輸出には持ち直しの兆しが見え始めた。産業用途は、自動車関連用途向け需要は底打ちしたものの、エコカー補助金の効果で好調であった前年同期の水準までの回復には至らなかった。

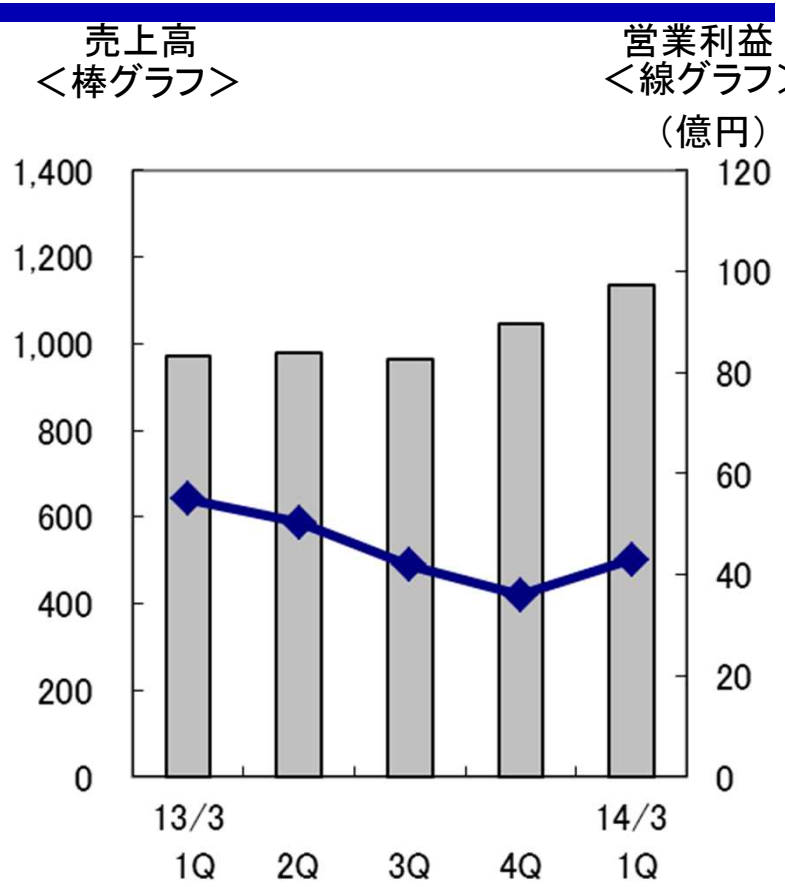
海外：　欧州の景気不振とともに、中国内需も伸び悩むなど、依然厳しい状況が続いたが、東南アジアや中国のテキスタイル子会社が高付加価値品の拡販を進めた。なお、2011年10月に発生したタイ洪水の影響が前年同期には残っていたが、生産・販売ともに回復し業績の改善に寄与した。

セグメント別業績（プラスチック・ケミカル）

TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	185	207	+21	(+11.5%)
	国内	343	436	+93	(+27.2%)
	海外	444	491	+47	(+10.6%)
	計	972	1,134	+162	(+16.6%)
営業利益	東レ	9	1	−8	(−86.6%)
	国内	18	22	+4	(+20.5%)
	海外	25	19	−6	(−25.2%)
	修正	3	1	−2	
	計	55	43	−12	(−21.7%)



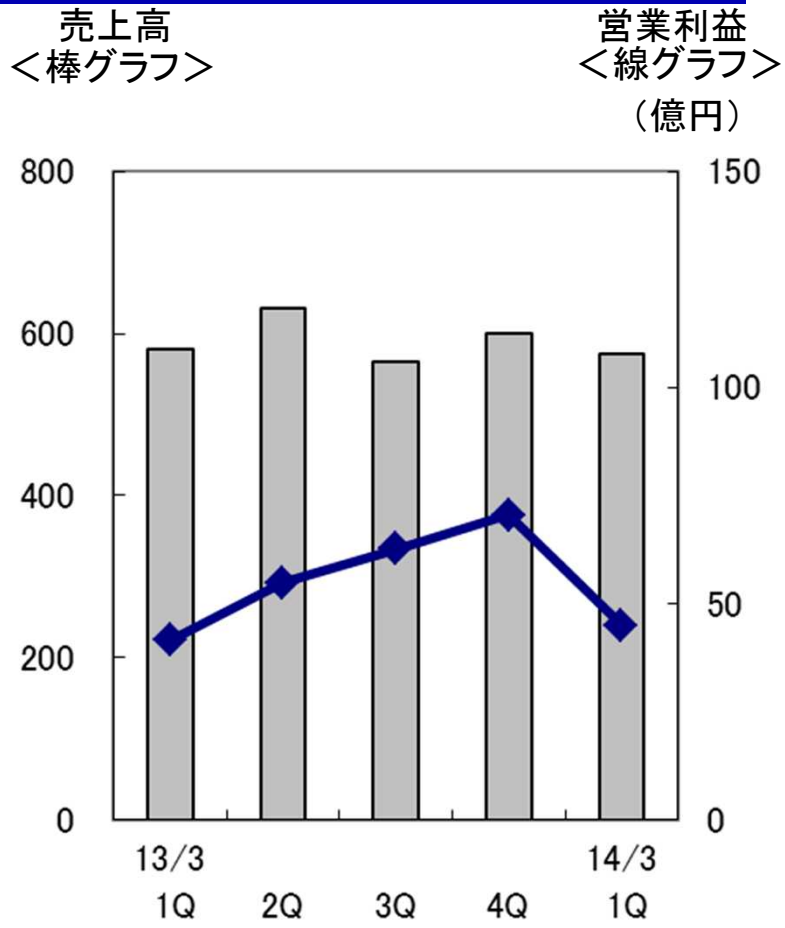
樹　脂： 樹脂事業は、国内では、自動車関連用途向け需要は堅調に推移したが、円高修正に伴う原料価格上昇の影響を受けた。海外では、汎用ABS樹脂の需要は引き続き低調だったが、高付加価値品の拡販に努めた。

フィルム： フィルム事業は、国内ではハイブリッドカー用コンデンサー向けなどの出荷は堅調に推移したが、全般的には国内外ともに需要は低調に推移し、価格競争が継続。

セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位:億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	206	194	−12	(−5.9%)
	国内	205	160	−46	(−22.2%)
	海外	169	222	+53	(+31.1%)
	計	580	575	−5	(−0.9%)
営業利益	東レ	28	25	−2	(−8.2%)
	国内	14	6	−8	(−59.9%)
	海外	14	22	+8	(+62.0%)
	修正	▲ 14	▲ 8	+6	
	計	42	45	+3	(+8.0%)



薄型テレビ用大型液晶パネル向けフィルム及びフィルム加工品の荷動きは堅調に推移し、スマートフォンやタブレット端末など中・小型ディスプレイ向け製品の販売も堅調に推移。特に海外では、韓国のフィルム及びフィルム加工品関連子会社や回路材料関連子会社が好調に推移。
一方で、最終製品の価格低下の影響などもあり、価格競争が継続。なお、前年同期に比べて、国内子会社における機器の販売は減少。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

TORAY Innovation by Chemistry

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	１３／３期 第１四半期		１４／３期 第１四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	198	34%	210	36%	+6%
電子部品・半導体・回路材料	229	39%	258	45%	+13%
記録材料	82	14%	76	13%	−8%
機器他	71	12%	32	6%	−55%
情報通信材料・機器セグメント合計	580		575		−1%

ディスプレイ材料：フィルム及びフィルム加工品は堅調も、PDP関連材料が低調に推移。

電子部品・半導体・回路材料：韓国子会社の電子部品用フィルム・フィルム加工品や回路材料を中心に堅調に推移。

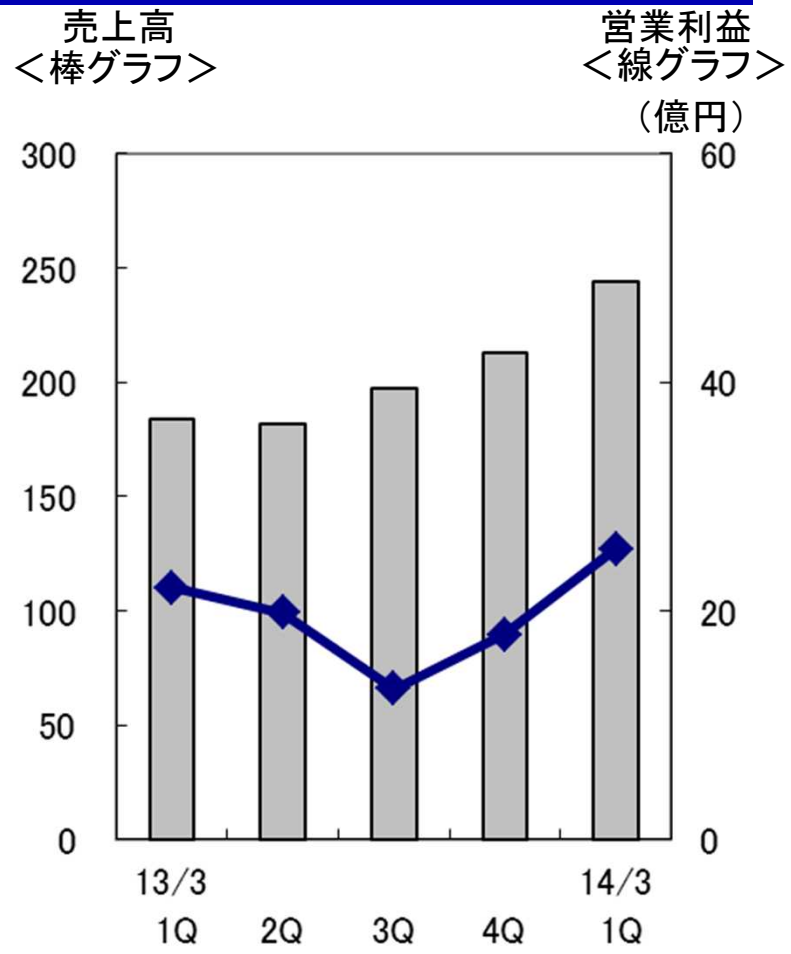
記録材料：磁気テープ向け及び熱転写リボン用フィルムが低調に推移。

機器他：液晶カラーフィルター製造装置等の出荷が減少。

セグメント別業績（炭素繊維複合材料）

単位：億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	150	210	+60	(+40.0%)
	国内	107	129	+22	(+20.8%)
	海外	138	196	+59	(+42.8%)
	修正	▲ 211	▲ 292	−81	
	計	184	244	+60	(+32.9%)
営業利益	東レ	14	11	−3	(−21.7%)
	国内	1	3	+1	(+102.3%)
	海外	13	14	+1	(+4.9%)
	修正	▲ 7	▲ 2	+5	
	計	22	25	+3	(+15.4%)



航空機需要の拡大や圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空宇宙用途や一般産業用途向けに炭素繊維及び中間加工品（プリプレグ）の販売が堅調に推移。また、成形品事業では、ノートブック型パソコン用に使用されている、高い強度を持ち軽量化を実現できる炭素繊維強化プラスチック製筐体が大きく販売を伸ばした。

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	１３／３期 第１四半期		１４／３期 第１四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	77	42%	112	46%	+45%
スポーツ	30	16%	32	13%	+8%
一般産業	77	42%	100	41%	+30%
炭素繊維計	184		244		+33%

航空宇宙用途：既存機向けの需要拡大に加え、ボーイング787向け出荷も好調に推移。

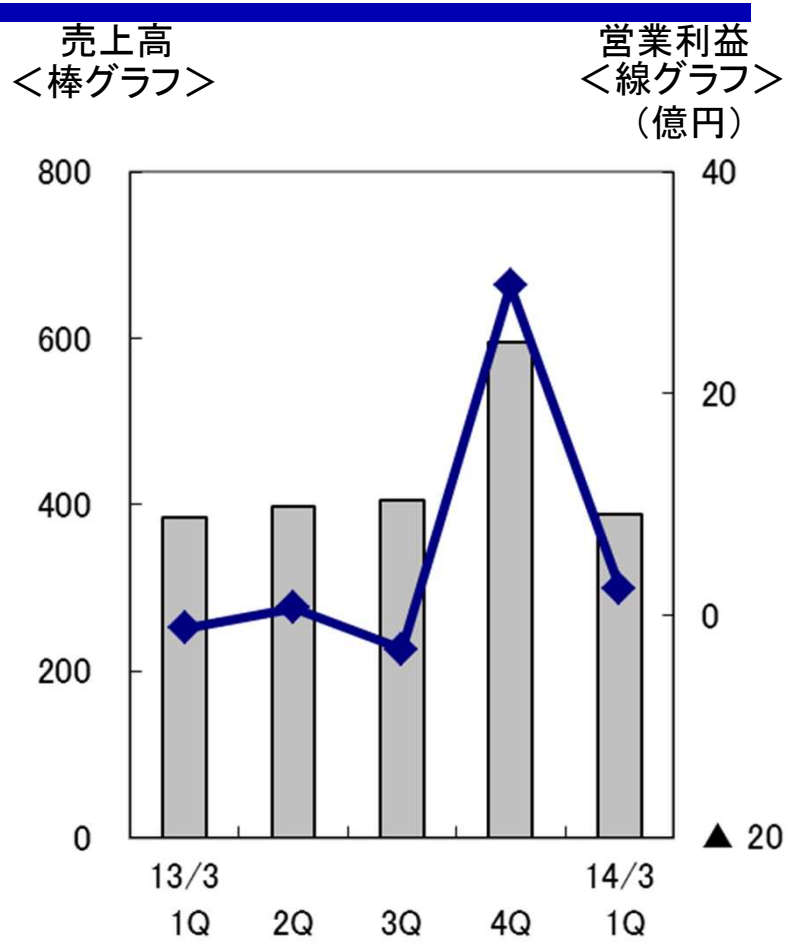
スポーツ用途：最終商品の主力市場の一つである欧州市場の低迷が依然として継続し、本格的な需要回復にはまだ時間を要する見込み。

一般産業用途：圧縮天然ガスタンク用途等を中心に出荷が堅調に推移。コンポジット製品では、ノートブック型パソコン筐体が好調に推移。

セグメント別業績（環境・エンジニアリング）

単位：億円

		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	16	21	+5	(+30.2%)
	国内	360	353	−7	(−1.9%)
	海外	9	14	+6	(+64.0%)
	計	385	388	+4	(+0.9%)
営業損益	東レ	▲ 8	0	+8	(−)
	国内	6	▲ 3	−8	(−)
	海外	▲ 1	0	+1	(−)
	修正	2	5	+2	
	計	▲ 1	2	+4	(−)



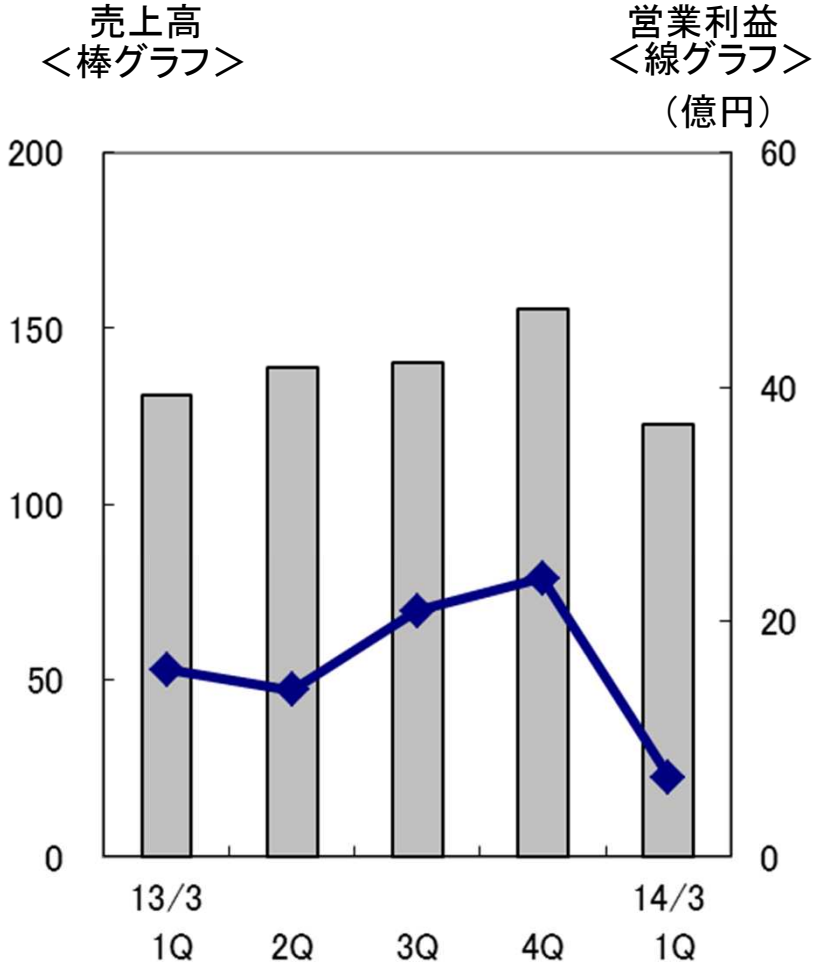
水処理膜事業：　世界経済の先行き不透明感から市場は本格回復には至っていないものの、当社は、中東向け逆浸透膜などの出荷が堅調に推移。

国　　内　：　建設・不動産子会社は堅調に推移したが、エンジニアリング子会社のプラント工事事業は低調に推移。

セグメント別業績（ライフサイエンス）

単位：億円

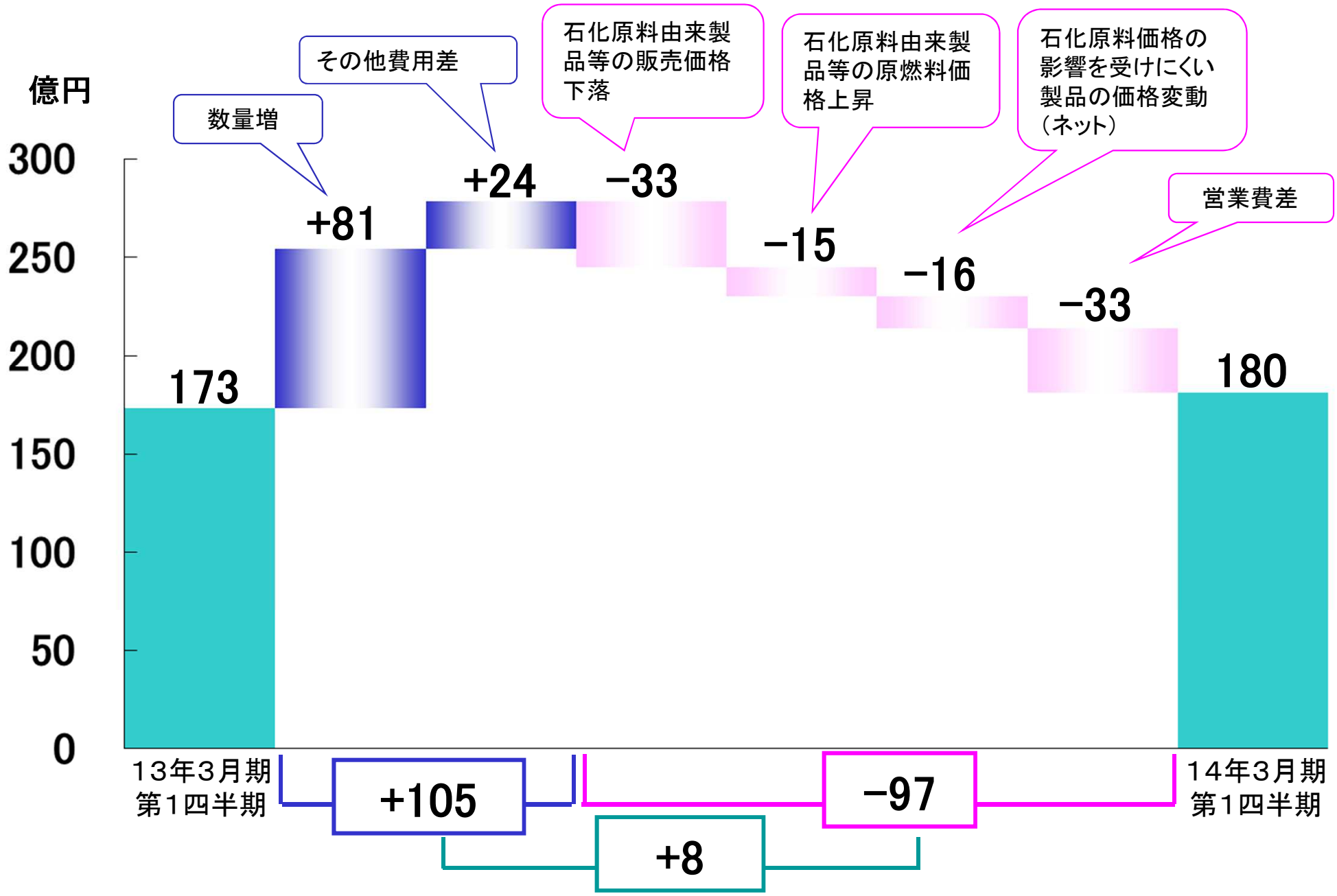
		13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	38	34	−4	(−9.3%)
	国内	92	83	−9	(−9.5%)
	海外	2	6	+4	(+186.6%)
	計	131	123	−8	(−6.4%)
営業利益	東レ	17	9	−7	(−44.1%)
	国内	2	0	−1	(−92.9%)
	海外	▲ 0	▲ 1	−0	(−)
	修正	▲ 2	▲ 2	−0	
	計	16	7	−9	(−57.7%)



医薬品では、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ® * の販売が拡大したが、その他の医薬品は競合激化の影響を受けた。また、ライセンス料収入も減少。医療機器では、ポリスルホン膜人工腎臓トレスルホン®、トレライト® が、国内販売に加え輸出も堅調だったが、透析機器の販売は低調に推移。

* レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

TORAY
Innovation by Chemistry

億円

		売上高			営業利益		
		13年3月期 1Q実績	**14年3月期 1Q実績**	増減	13年3月期 1Q実績	**14年3月期 1Q実績**	増減
東レインターナショナル		1,049	**1,245**	+196	20	**24**	+4
東レエンジニアリング		215	**110**	−105	1	**▲8**	−9
東レ建設		91	**104**	+13	2	**3**	+1
東レフィルム加工		119	**101**	−18	5	**3**	−2
東レ・メディカル		93	**91**	−2	2	**0**	−1
TAK（韓国）		231	**282**	+51	27	**27**	−0
TPM（マレーシア）		148	**178**	+31	4	**6**	+3
在東南アジア・子会社　＊1	繊維	215	**272**	+57	▲7	**6**	+14
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	175	**204**	+30	9	**7**	−2
	その他	19	**21**	+2	1	**1**	−0
	計	409	**498**	+89	3	**14**	+11
在中国・子会社　＊2	繊維	235	**348**	+112	20	**29**	+9
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	127	**148**	+22	1	**2**	+1
	その他	25	**38**	+13	▲2	**▲1**	+1
	計	387	**534**	+147	19	**30**	+11
在外・フィルム子会社　＊3	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	200	**233**	+33	18	**8**	−10
	情報通信材料・機器	115	**154**	+39	15	**20**	+5
	計	315	**386**	+71	33	**28**	−5

＊1：ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB－G、TTS、LTX、TTTM、TPM　単純合計
＊2：TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、THK－G、TPCH－G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC　単純合計
＊3：TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK　単純合計

Ⅱ．2014年3月期業績見通し

2014年3月期連結業績見通し

TORAY
Innovation by Chemistry

億円

		13年3月期 実績	14年3月期 見通し	対前年同期比 増減		期初見通し	期初見通しとの差異
売上高	上期	7,537	8,450	+913	(+12.1%)	8,350	+100
	下期	8,386	10,050	+1,665	(+19.8%)	10,050	―
	通期	**15,923**	**18,500**	**+2,577**	**(+16.2%)**	**18,400**	**+100**
営業利益	上期	367	450	+83	(+22.6%)	450	―
	下期	467	750	+283	(+60.4%)	750	―
	通期	**834**	**1,200**	**+366**	**(+43.8%)**	**1,200**	**―**
経常利益	上期	380	450	+70	(+18.3%)	450	―
	下期	502	750	+248	(+49.4%)	750	―
	通期	**882**	**1,200**	**+318**	**(+36.0%)**	**1,200**	**―**
当期純利益	上期	200	250	+50	(+25.0%)	200	+50
	下期	285	400	+115	(+40.5%)	450	−50
	通期	**485**	**650**	**+165**	**(+34.1%)**	**650**	**―**

1株当たり当期純利益	上期	12.3円	15.3円
	下期	17.5円	24.6円
	通期	**29.8円**	**39.9円**
1株当たり配当金	上期	5.0円	5.0円
	下期	5.0円	5.0円
	通期	**10.0円**	**10.0円**

備考： 為替レートの前提は、95円／US＄（7月以降）、 原油価格の前提は、110US＄／B（DUBAI FOB）（7月以降）

セグメント別業績見通し（売上高／営業利益）

億円

		13年3月期 実績			14年3月期 見通し			対前年同期比 増減			期初見通し との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	2,889	3,433	6,322	3,300	4,100	7,400	+411	+667	+1,079	—	—	—
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	1,950	2,009	3,958	2,200	2,400	4,600	+250	+391	+642	—	—	—
	情報通信材料・機器	1,211	1,165	2,376	1,300	1,400	2,700	+89	+235	+324	—	—	—
	炭素繊維複合材料	365	411	776	500	550	1,050	+135	+139	+274	+50	—	+50
	環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	781	1,002	1,784	800	1,150	1,950	+19	+148	+166	+50	—	+50
	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	270	296	566	280	370	650	+10	+74	+84	—	—	—
	その他	71	70	141	70	80	150	−1	+10	+9	—	—	—
	連結	7,537	8,386	15,923	8,450	10,050	18,500	+913	+1,665	+2,577	+100	—	+100
営業利益	繊維	185	247	432	220	310	530	+35	+63	+98	—	—	—
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	105	78	183	110	130	240	+5	+52	+57	—	—	—
	情報通信材料・機器	96	133	230	130	220	350	+34	+87	+120	—	—	—
	炭素繊維複合材料	42	31	73	60	70	130	+18	+39	+57	+10	—	+10
	環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	▲ 0	27	26	0	60	60	+0	+33	+34	—	—	—
	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	30	45	75	20	50	70	−10	+5	−5	−10	—	−10
	その他	7	9	16	10	10	20	+4	+1	+4	—	—	—
	調整額	▲ 98	▲ 102	▲ 200	▲ 100	▲ 100	▲ 200	−2	+2	−0	—	—	—
	連結	367	467	834	450	750	1,200	+83	+283	+366	—	—	—

本資料中の2014年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。